

9/7 第41回渋川へそ祭り
約500人が軽快にステップ

腹絵の描き方の
紹介動画はこちら▶



9月7日に、新町五差路周辺で第41回渋川へそ祭りが開催されました。会場には、約7万7,000人が訪れ、ダンスやお囃子のパフォーマンスが披露。夕方に行われたメインイベントの「へそ踊りパレード」では、約500人の踊り手が参加し、「へそ出せヨイヨイ」の音頭に合わせて、大きなかけ声と軽快なステップで、祭りを盛り上げました。



9/1 徳富蘆花記念文学館の紙芝居展
見て感じる日本特有の文化財



9月1日から10月24日(木)まで、徳富蘆花記念文学館で「紙芝居展」を開催しています。この企画展は、県立土屋文明記念文学館の移動展として、紙芝居のルーツをたどり、さまざまな紙芝居とその歴史を紹介。「黄金バット」や「鞍馬天狗」といった街頭紙芝居や教育紙芝居など、時代ごとに特徴のある紙芝居を目で見て、歴史を感じることができます。

9/14 渋川広域消防本部の上級救命講習
大切な命を守るために適切な応急手当を学ぶ

9月14日、市社会福祉センターで、渋川広域消防本部が上級救命講習を開催しました。事前学習を済ませた29人が参加し、命を守る対応を身に付けようと真剣に実習に取り組み、救命措置のほか、止血法や搬送法など、救急車が到着するまでに行う応急手当を学びました。最後に、筆記試験で救命の知識の確認を行い、修了証を受け取りました。



8/27 シニア筋力ぐんぐん教室
楽しみながら体の動きがぐんぐん楽になる

8月27日に北橋公民館で、シニア筋力ぐんぐん教室を開催しました。これは、トレーニングを通して生活に必要な筋力を養うための教室で、介護予防サポーターを含めた約20人が参加しました。体操の効果を確かめるために行ったチーム対抗のレクリエーションでは、参加者同士で応援し合いながら楽しみ、体操の効果を感じていました。



9/2 9月「認知症月間」に展示・相談会
認知症への理解を深める



▶東京電力パワーグリッド(株) 渋川支社社屋の鉄塔

9月2日～6日に、市役所本庁舎市民ホールで、「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」展示・相談会を開催しました。認知症に関するパネル展示や関連動画の上映などを行い、認知症への理解と地域で共に生きる大切さを呼びかけました。期間中は、認知症理解普及のシンボルカラーで、市内の鉄塔のライトアップも行いました。

9/19 伊香保まつり
世代を超えるにぎわい

9月18日～20日に伊香保温泉街で、伊香保まつりが開催されました。19日は、伊香保神社の本みこしが石段街を上り下りする渡御と子どもが引く山車の運行を実施。また、19日と20日の夜には、子どもから大人までの参加者が、石段街で『樽みこし』をもみ上げ、祭りばやしの音とともに祭りを一層盛り上げました。

